

再評価結果（平成26年度事業継続箇所）

担 当 課：道路整備課

担当課長名：久保 義人

事業名	一般国道438号 宮平バイパス				事業区分	一般国道	事業主体	徳島県
起終点	自：徳島県 美馬郡 つるぎ町 貞光字 日浦川 向 至：徳島県 美馬郡 つるぎ町 貞光字 東丸井						延長	2.4km
事業概要 当路線は、徳島県徳島市からつるぎ町を経由し香川県坂出市に至る幹線道路で、第2次緊急輸送道路に指定されており、また、「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」の推進に寄与する重要な路線である。宮平バイパスは、「二層うだつの町並み」や「剣山」などの観光施設間の連携強化を図るとともに、幅員狭小や線形不良などの隘路区間を解消し、安全で円滑な交通の確保を目的に整備する2車線道路である。								
H7年度事業化			-			H8年度用地着手		H9年度工事着工
全体事業費		70億円	事業進捗率		73.0%	供用済延長		1.4km
計画交通量		2,000台/日						
費用対効果分析結果		B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 2.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 14.5/84.4億円 事業費:14.3/83.7億円 維持管理費:0.2/0.7億円		総便益 (残事業)/(事業全体) 32.4/94億円 走行時間短縮便益:29.5/80.0億円 走行経費減少便益:2.6/11.8億円 交通事故減少便益:0.3/2.3億円		基準年 平成26年度	
感度分析の結果 残事業について感度分析を実施								
交通量変動 : B/C=2.5 (交通量 +10%) B/C=2.0 (交通量 -10%)								
事業費変動 : B/C=2.0 (事業費 +10%) B/C=2.5 (事業費 -10%)								
事業期間変動 : B/C=2.1 (事業期間+1年) B/C=2.3 (事業期間-1年)								
事業の効果等								
・国土、地域ネットワークの構築（大型車すれ違い困難区間3.2kmの解消）								
・災害への備え（緊急輸送路における対策工事2.4kmの完成、落石危険箇所6箇所の回避）								
・個性ある地域の形成（剣山、鳴滝等の観光地へのアクセス向上）								
関係する地方公共団体等の意見								
・沿線市町村で構成する国道438号整備促進期成同盟会から早期整備を求める要望を受けている。								
前回再評価時より今回再評価実施までの周辺環境変化等								
・平成17年3月に市町村合併（貞光町、半田町、一字村）により「つるぎ町」が発足。								
・平成25年4月につるぎ町を含む県西部地域を圏域とする「にし阿波～剣山・吉野川観光圏」が認定。								
事業の進捗状況、残事業の内容等								
・平成26年度までの供用区間は全延長2.4kmのうち約1.4km。								
・残事業はトンネルと取り合い部を含むバイパス部の約1.0km。								
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等								
・残土処理場及びアクセス道路の整備において、用地交渉が難航したためトンネル着手が遅れた。								
施設の構造や工法の変更等								
・他事業と連携した残土の有効活用によりコスト縮減を図っている。								
対応方針		事業継続						
対応方針の決定理由		・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えている。						
事業概要図								

※総費用、総便益とその内訳は各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。